

「日本ラテン化計画」を推進するべく発案させていただいた  
「Fiesta Latina ～女たちのラテン祭」

出演者全員女性という前代未聞の、夢のようなこのコンサートを無事に成功裡に終われましたこと、ご来場いただいた皆さま、出演者さま、そして協力してくださったスタッフさまに、心より感謝申し上げます。

「言うは易く行うは難し」とことわざにあるように、発案は簡単にできることですが、それを行動に移すのは相当の熱意と覚悟と勇気が必要です。当然リスクも出てきます。

今回、大変な仕事を引き受けてくださった、カンタリーナ奈々さん、阿部道子さん、舞台監督ピーターさんの熱意で、このコンサートは実現できたと思います。ありがとうございます。

人生は、熱意を持って行動することで無限に楽しくなるもの  
同じ熱意を持った人が集まると夢も叶う  
と実感。

日本ラテン界の層の厚さは想像以上に進んでいて、私がサルサを始めた頃からは考えられないほど沢山の素晴らしいメンバーと、ボーカリストとソリストが集結したことに、リハーサルで音を出した瞬間から本気で驚きました。

本番では、出演者それぞれ違う魅力的な色で華やかにステージを彩ってくださいました。ライブ後に、続々と出演者の方々への賛辞をいただき、ステージではコーラスと不慣れな司会を担当した私と奈々さんは、本当に救われた気持ちです。

層は厚くなったものの、まだまだ若い世代に浸透していないラテン音楽。

大変有り難いことに、この日本ラテン史に残るコンサートを継続してほしいという声を沢山いただいております。

再演を目指して、これからもラテン音楽の素晴らしさを「日本ラテン化計画」を旗印に広めていきたいと思っています。

今後とも熱いご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

iViva Fiesta Latina!

NORA